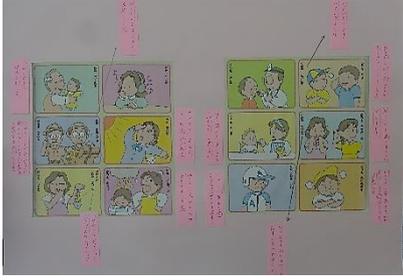
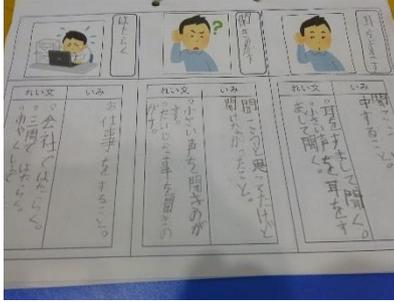


実践教材・教具紹介一覧表

宇和特別支援学校（聴覚障がい部門）

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	慣用句表（掲示物） 	【小学部】 聴覚障がいのある児童（当時2年生）の国語の学習のために作成した。イラストを印刷し、それぞれの慣用句の意味を児童と一緒に調べて付箋に書き、イラストの近くに貼った。児童がいつでも確認できるように教室内に掲示することで、学んだことを自分で確認することが増えた。意味を覚えたら付箋をはがし、また忘れてしまったら再度貼るようにした。
②	言葉ノート 	【小学部】 聴覚障がいの児童の自立活動の学習の際に作成した。上部のイラストの横に動詞や名詞を、下部には意味と例文を書き込んでいる。月ごとに新しく知る言葉をまとめ、忘れた際には確認するようにした。また、この言葉ノートを基に、月末に言葉のテストを行い、定着度を確認することにも用いているため、児童の家庭学習にも役立った。
③	言葉ファイル 	【小学部】 聴覚障がい児童の各教科、自立活動の学習の際に作成した。分からなかった言葉を獲得するために、児童と共に作成し、カードの表には言葉、裏には意味を書いた。意味書きは、国語事典を活用して調べ、児童が分かりやすい言葉を用いた。覚えた言葉にはスタンプを押し、児童自身が定着度を測れるようにした。その言葉が出てきた教科に応じて、色分けをした。
④	難聴理解かるた 	【中学部】 聴覚障がいのある生徒自身の障がい理解のために使用したり、交流相手校の生徒に聴覚障がいについて認識してもらったりするために活用したりした。聴覚障がい者が日常でどのような不便があるかや、周囲がどのように支援すべきかなどが記されており、障がいについて理解することができる教材である。 出版元：難聴児支援教材研究会

⑤



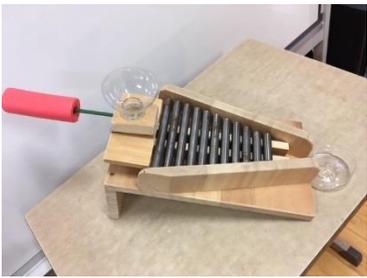
【理科】

児童生徒が理科に興味関心を持てるように自然の不思議な現象を見たり直接触れたりできる展示を定期的に行った。小学生から楽しめるように、できるだけ簡単に操作できるものを選択した。また、「どうして」という疑問に答えられるように簡素に理論も書くようにした。

左上「静電気」、右上「ブルーボトル反応」(酸化還元)、左下「錯視」、右下「発電」

実践教材・教具紹介一覧表

宇和特別支援学校（肢体不自由部門）

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	つまもうセット 	【小学部】 手の大まかな動作はできるが指に力を入れる動作が難しい児童に、できるだけ指先を使う動きを促すために作製した。左上の写真はつまんで入れる用、右下はつまんで出す用として使った。つまんで出す用は段ボールに張り付けて、厚みのある木材に巻いているため、取り換えが可能である。
②	さしてみようセット 	【小学部】 指に力を入れる動作が難しい児童に、さす（入れる）動作を促すために作製した。ペグ差しは、入れる穴が分かりやすいように筒を貼り付けた。できるようになると、固い（紙製の）ストローをストローより少し大きめの穴を開けた海苔の空き容器にさす練習をした。
③	ビー玉転がし（音を楽しもう） 	【中学部】 ビー玉が転がることで音が鳴る物を作製した。取っ手を下に押すことでビー玉が入ったケースが開く。小さな力で複数のビー玉を転がすことができ、鉄の筒の上を通ると、音を楽しむことができた。取っ手を押すことでビー玉が転がり、高い音が出るという因果関係を理解することを目指した。
④	くるくる糸巻 	【中学部】 滑り止め付きの筒を繰り返し手前に引くことで、一人で糸を巻くことができる。手前の筒に連動して、中央の糸巻が回転し、糸が巻かれていく。中央に他の材料を取り付けることで、塗装等の活動にも応用することができた。
⑤	自助ばさみ 	【高等部】 はさみの操作が難しい生徒のために作製した。はさみの取っ手に指を入れる必要はなく、板の部分を上下に動かすことで切ることが可能である。下の刃は固定してあるため安定し、安全に切ることができた。丈夫な刃を使用した。

<p>⑥</p>	<p>出席ボード</p> 	<p>【高等部】</p> <p>出席したことを友達や他クラスの教員に知らせるボードである。上段のカラーボックスに、音の鳴る玉が入っており、音を楽しみながら転がすことができる。玉が下段のボックスに入ると、生徒の写真が立ち上がる仕組みになっている。それを見て、出席確認ができた。</p>
<p>⑦</p>	<p>お掃除手押し車</p> 	<p>【高等部】</p> <p>片手では掃除道具を持つことが難しい生徒（脊柱側湾症）のために作製した。両手で支持できるため、意欲的に掃除をした。自由に転がるキャスター二つと、まっすぐにしか進まないキャスター二つを取り付けているため、カーブでの操作も自由自在に行うことができる。写真はワイパーを取り付けているが、粘着式の「コロコロ」への付け替えも可能である。</p>